

土石防だより



梅雨晴間（富士宮市）

静岡県支部通常総会	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会	3
土石災害防止月間活動	4
• 急傾斜地パトロールの協働実施	
• 「みんなで防ごう土石災害(土石災害防止説明会)」の開催	
平成25年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	6
土石災害に対する全国統一防災訓練	8
わがまち(浜松市・三島市)	9
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12

特集

第69回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

土石災害防止月間活動

土石災害に対する全国統一防災訓練



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催



原田支部長の挨拶

5月29日(木)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成26年度(第69回)通常総会を静岡市内で開催しました。

総会では、支部長の原田英之袋井市長が議事に先立ち、静岡県支部のあゆみを紹介するとともに、浜松市天竜区春野町の地すべりや伊豆大島の土砂災害に触れ、国や県の行っている施設整備の推進とともに、ソフト対策の面で、砂防協会による啓蒙活動、会員相互の連携及び国や県との協調の重要性を訴えました。

続いて、難波喬司副知事、伊藤育子県議会副議長、大野宏之国土交通省砂防部長、岡本正男全国治水砂防協会理事長より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成25年度の事業報告・収支決算報告、平成26年度の事業計画・収支予算が原案どおり承認されました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



難波副知事の挨拶



大野砂防部長の挨拶



岡本理事長の挨拶



伊藤県議会副議長の挨拶

土砂災害防止講習会が開催される

静岡県支部通常総会終了後、県内直轄事務所長、各市町長及び各土木事務所長等多くの参加者のもと、土砂災害防止講習会を開催しました。

国土交通省大野砂防部長には「土砂災害への取り組み」と題し、全国の土砂災害の発生状況とその対応、伊豆大島の土砂災害の概要及びソフト対策などについて講演していただきました。また、全国治水砂防協会岡本理事長には、「砂防に関する最近の話題」と題し、世界各地の土砂災害の映像を交えた土砂災害の実態や避難勧告等市町の警戒避難体制の整備の重要性について講演をしていただきました。



講演会の様子



大野砂防部長の講演



岡本理事長の講演

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月28日(水)、(一社)全国治水砂防協会の平成26年度(第78回)通常総会が、会員多数の出席のもと、砂防会館で開催されました。

当日は、静岡県選出国會議員をはじめ多くの国會議員が来賓として御出席されました。当支部からは支部長の原田袋井市長をはじめ10名の会員に御出席いただきました。

綿貫民輔会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、平成25年度の事業報告・収支決算報告が承認され、平成26年度の事業計画・収支予算が報告されました。

また、総会開会に先立ち、昨年に引き続き、語り部(かたりすと)としてご活躍中の平野啓子氏(静岡県沼津市出身、大阪芸術大学放送学科教授、元NHKキャスター)による「語りと砂防と私」と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



総会の様子



綿貫会長の挨拶



平野氏の講演

本県の参加市町

袋井市、伊豆市、森町、河津町、東伊豆町、西伊豆町、川根本町、伊豆の国市、富士宮市、島田市(計10市町)

※太字は本人参加

原田支部長が功労者表彰を受賞

(一社)全国治水砂防協会の総会終了後、協会表彰規定に基づく功労者表彰が行われました。

原田支部長は、平成13年1月に袋井市長に就任されて以来、高い防災意識を持たれ、健康と安全・安心なまちづくりに取り組んでこられています。

静岡県支部においては、平成13年1月から9年2ヶ月間、副支部長を務められた後、平成22年3月から現在まで支部長を務めておられます。また、平成23・24年度は、(一社)全国治水砂防協会の理事を務められるなど、これらの協会活動の功績が認められ、今回の受賞となりました。



表彰式の状況



受賞者の皆様

平成26年度「土砂災害防止月間」

6月1日(日)～30日(月)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線や台風により雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 啓発活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催
- 「土砂災害・全国統一防災訓練」の実施 など

表【平成25年に発生した土砂災害件数】

H25年土砂災害発生	土石流	地すべり	がけ崩れ	計
全国土砂災害発生件数	262	89	590	941
静岡県土砂災害発生件数	9	2	15	26



立看板の設置(静岡県庁正面玄関)

～住民と砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

6月2日(月)から6月30日(月)に、県内の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、危機管理局、市町、警察、消防と協働で、土砂災害防止施設の異状の有無、法面の崩壊、排水路の機能状況などの点検をしました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、早急に改善設置を講じていきます。



急傾斜地パトロールの写真

2 市町における広報活動の取組み

各市町では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(牧之原市相良庁舎)



平成26年度 土砂災害防止月間ポスター

の取り組み

広報誌への掲載	沼津市、富士宮市、伊東市、焼津市、掛川市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、西伊豆町、函南町、小山町、川根本町
ホームページにおける広報	静岡市、掛川市、藤枝市、伊豆市
横断幕、懸垂幕の掲示	静岡市、浜松市、沼津市、伊東市、磐田市、掛川市、袋井市、下田市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、川根本町、森町
土砂災害防止講習会の開催	浜松市、熱海市、伊東市、磐田市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、伊豆の国市、東伊豆町、西伊豆町、函南町、森町
ラジオ、テレビ放送	FMIS ラジオ(伊豆市)、FMHaru!(浜松市)
ポスター掲示	県内市町関連機関、県内ファミリーマート約230店舗におけるポスター掲示

3 みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)

6月21日(土)、土砂災害の恐ろしさや、砂防事業の重要性を県民のみなさまに理解していただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」を開催しました。

この行事は、「砂防フェスティバル」として、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方気象台の共催により開催しているもので、土砂災害防止に関するパネル展示などの啓発活動を行いました。



会場の様子



平成25年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

おくのさわがわ

●奥の沢川渓流保全工（駿東郡小山町上野地先）



奥の沢川では、平成22年9月の豪雨により甚大な被害が生じたため、砂防堰堤1基を設置した後、渓流保全工の整備を行い、下流域の人家24戸、公民館、町道の保全を図りました。

おぎいりさわ

●荻入沢砂防堰堤工（賀茂郡河津町梨本地先）



荻入沢では、砂防堰堤を1基整備し、下流域の人家7戸と町道の保全を図りました。

あこやまさわ

●安居山沢砂防堰堤工（富士宮市安居山地先）



安居山沢では、砂防堰堤を1基整備し、下流域の人家11戸、県道、JR身延線の保全を図りました。

しもったさわ

●下田沢砂防堰堤工（周智郡森町鍛冶島地先）



下田沢では、砂防堰堤を1基整備し、下流域の人家8戸、町道、橋梁の保全を図りました。

●砂防事業

※平成25年度に工事を実施し、完成した箇所が対象

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
荻入沢	賀茂郡河津町梨本	120	H22	砂防堰堤工 H=9.5m L=52.5m
安良里坂本川	賀茂郡西伊豆町安良里	584	H17	砂防堰堤工 H=14.5m L=73.5m H=12.5m L=48.5m
河内川	沼津市西浦河内	223	H21	砂防堰堤工 H=10.5m L=55.5m
姥子沢	御殿場市沼田	150	H22	砂防堰堤工 H=10.0m L=40.5m
奥の沢川	駿東郡小山町上野	129	H24	渓流保全工 L=300.0m
安居山沢	富士宮市安居山	225	H21	砂防堰堤工 H=9.5m L=58.0m
下田沢	周智郡森町鍛冶島	143	H22	砂防堰堤工 H=12.0m L=37.0m

急傾斜地崩壊対策事業

かざこし ●風越擁壁工（熱海市上多賀地内）



急傾斜地崩壊対策工事を実施し、人家6戸の保全を図りました。

れんげんじ ●連源寺法面工（伊豆の国市中條地内）



市指定文化財(寺院)があることから、特殊工法を一部採用するなど急傾斜地崩壊対策工事を実施し、人家21戸、幼稚園(災害時要援護者施設)の保全を図りました。

いさぶやしちがわら ●伊佐布矢下河原法面工（静岡市清水区伊佐布地内）



台風により崩壊した斜面対策として法面工事を実施し、人家18戸の保全を図りました。

いちほり ●芋堀擁壁工（浜松市天竜区佐久間町奥領家地内）



急傾斜地崩壊対策工事を実施し、人家20戸、(国)152号、デイサービスセンター(災害時要援護者施設)、駐在所の保全を図りました。

●急傾斜地崩壊対策事業

※平成25年度に工事を実施し、完成した箇所が対象

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
風越	熱海市上多賀	101	H22	擁壁工 L=100m
熊坂根附	伊豆市熊坂	28	H23	法面工 L=20m
連源寺	伊豆の国市中條	455	H21	法面工 L=405m
湯船上耕地	駿東郡小山町湯船	8	H24	擁壁工 L=60m
藤曲本通	駿東郡小山町藤曲	83	H22	法面工 L=107m
北沼上川合野No2	静岡市葵区北沼上	36	H21	擁壁工 L=10m
郷島宮ノ上No2	静岡市葵区郷島	120	H21	擁壁工 L=85m
南沼上奥ノ谷中	静岡市葵区南沼上	5	H25	擁壁工 L=15m
青木赤ママ	静岡市駿河区青木	22	H23	法面工 L=14.3m
伊佐布矢下川原	静岡市清水区伊佐布	82	H23	法面工 L=78.5m
東町	静岡市清水区興津本町	21	H24	擁壁工 L=20m
上相賀No2	島田市上相賀	38	H23	法面工 L=30m
下田カイトNo2	藤枝市瀬戸ノ谷	41	H23	擁壁工 L=78m
内山	牧之原市静波	3	H25	法面工 L=20m (災関フォロー)
唐井栗	浜松市天竜区小川	216	H18	擁壁工 L=205m
長蔵寺	浜松市天竜区春野町長蔵寺	267	H16	擁壁工 L=168m
芋堀	浜松市天竜区佐久間町奥領家	105	H22	擁壁工 L=150m

土砂災害に対する 全国統一防災訓練を実施



焼津市浜当目地区
(負傷者搬送訓練)

～すぐ避難 いっとき 一時の迷いが命とり～

6月1日(日)、県下一斉に「土砂災害に対する防災訓練」を実施しました。

この訓練は、梅雨前線等豪雨の影響による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を図ることを目的に、毎年、全国統一実施日を定め全国の市町村で実施しています。

本県では、統一実施日に21市町で地元地域住民や行政関係者など約2,900人が参加し、情報伝達訓練や避難勧告に伴う避難所への参集訓練、防災講習会などを実施しました。

また、6月1日以外の日には、11市町で約500人の参加により訓練を実施しました。

訓練参加市町

浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、吉田町、川根本町、森町 (計32市町)

訓練の状況



西伊豆町大田子地区
(防災講習会)



東伊豆町稲取地区
(防災講習会)



熱海市和田山地区
(要援護者避難支援)



三島市大場赤玉地区
(危険箇所点検)



小山町成美地区
(土のう作成訓練)



函南町田代・軽井沢地区
(避難所参集訓練)



藤枝市玉取地区
(要援護者避難支援)



森町薄場地区
(避難所参集訓練)



磐田市岩田地区
(防災講習会)



袋井市山田川地区
(避難所参集訓練)



浜松市西区入野地区
(ハザードマップ作成訓練)



湖西市
(対策本部設置訓練)

浜松市

河川課

浜松市は静岡県西部に位置し、若き日の徳川家康公が17年間に過ごした浜松城を擁する「出世の街」として古くから栄えてきました。本市では「出世の街浜松」としてシティプロモーションを推進しており、その一環として平成25年度には浜松城の天守門が完成、皆さまにお披露目しております。さらに平成27年には静岡市や岡崎市と連携し「徳川家康公顕彰400年記念事業」を実施する予定です。

また、平成26年3月21日から6月15日にかけて「浜名湖花博2014～花と緑の祭典～」を開催し、129万人を超える来場者を迎えることができました。

さて、本市は静岡県の約2割を占める広大な市域約1,558平方キロメートルを有しており、その中に土砂災害危険



門島の地すべり災害発生状況(H25.4撮影)

箇所は2,592箇所存在し、土砂災害の防止対策は本市の重要な課題となっております。

このような中、平成25年3月下旬に住民が亀裂を発見した天竜区春野町門島地区において、同年4月に崩壊推定土量120,000立方メートルの大規模な地すべりが発生しました。門島地区は浜松市役所本庁舎から車で2時間弱を要する距離にありましたが、国土交通省や静岡県などの迅速な技術支援のもと、事前に警戒避難体制を構築し、スムーズな避難を開始することができました。

今後も住民が安全に暮らせる生活環境づくりに関係各位のなご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



出世城と呼ばれる浜松城と天守門

三島市

土木課長 諸伏雄司

三島市では、将来都市像である「せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島～環境と食を大切に～」の実現に向け、市民、NPO、事業者との協働によるまちづくりを推進しているところです。

その取り組みとしまして「市民力」を活かした、人だけでなくまちや産業も健康になる総合的な「健幸」政策の「スマートウェルネスみしま」や、水と緑、文化と歴史、富士山の景観などに「花」という彩りを添え、美しく品格のあるまちをつくるための「ガーデンシティみしま」などの重点プロジェクトに加え、「自らの命は自ら守る」、「自らの地域は皆で守る」を基本に防災・減災対策にも取り組んでいます。

その中でも、地下水涵養・治水対策のソフト事業の一つとして、箱根西麓に広がる森に「森の小さなダムづくり」を展開しています。

この事業は森林の間伐材を有効利用し、降雨時に雨水が集中する山のくぼみに丸太を2～3段積み上げ小さなダムを作り、雨水の流出抑制や土砂の流出防止を図るもので、三島湧水群の復活にも期待しているところです。

平成13年から市民ボランティアや小中学校の総合学習などにより804基のダムが設置され、森の環境改善が進んでいます。

今後も市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、関係機関の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

森の小さなダムづくり 雨水を地下水にする森の働きをもどそう

しくみ 森の谷間に、間伐材を丸太にして積み、杭でとめ、雨水や土砂が一層に流れ出ないようにためる小さなダムです。

効果 森の中の雨水しんとウマス 森ダムにたまった雨水は、土の中にしみこみ、地下水となり、山はだや、時には地面の中をゆっくり通って、まちの中でわき出します。ダムには約ドラム缶一杯ほどたまるので、雨水はゆっくり流れます。

間伐 太陽の光を入れよう...

ダム 間伐材を重ね杭でとめる

森の小さなダムづくり

平成26年度(公社)日本地すべり学会中部支部の総会及び講演会が開催される

4月23日(水)に、(公社)日本地すべり学会中部支部の役員会・総会及び講演会が、ホテル国際21(長野市)で開催されました。この中で、支部長が平松晋也信州大学農学部教授に交代しました。講演会では、神野忠広利根川水系砂防事務所長が、「浅間山の直轄火山砂防事業について」と題し、噴火前の事前対策、備蓄、無人化施工の演習などについての講演を行いました。つづいて、三宅康幸信州大学理学部教授が、「浅間山火山の噴火と災害について」と題し、浅間山の火山活動の特徴と、過去に発生した大災害(塚原岩屑なだれ、小諸火砕流など)の講演を行いました。



静岡大学 土屋智教授の挨拶

大内グリーンベルトモデル地区で恒例の「タケノコ掘り」イベントが実施される

4月27日(日)に、地元の小学生たちを対象に恒例のタケノコ掘りが、大内グリーンベルトモデル地区内の杉谷津沢(静岡市清水区)で行われました。

このタケノコ掘りは、竹林の増殖を抑制し、健全な法面を保持する大切な作業であり、子供たちの貴重な体験学習になることから、「わんぱくたかべ倶楽部」(地元PTAボランティア)が計画し、NPO「森と水辺を育てる会」が協力する形で行われています。

この日は、地元の高部小学校、高部東小学校の親子も含め約150名の参加があり、「育てる会」の指導のもと行われました。

子供たちは、1年を通して学びながら里山の維持管理などに取り組んでいきます。



砂防堰堤前の全体説明



タケノコ掘りの様子

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月12日(月)に、富士山周辺の静岡県・山梨県の15の市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、いずみの郷(長泉町)で開催され、静岡県砂防課はオブザーバーとして参加しました。

総会では、平成25年度事業報告、平成26年度事業計画が承認されるとともに、役員交代があり、会長に長泉町長、副会長が鳴沢村長(山梨県)となりました。

その後、山梨県富士山科学研究所の荒巻重雄名誉顧問による「映像から学ぶ火山防災」の演題で研修会が行われました。



総会の様子

国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せの開催

5月21日(水)に、毎年恒例の「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ」を、県庁で開催しました。合同打合せは、県内の直轄砂防事務所である静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所と県砂防課が当年度の事業の予定、取組の紹介や連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に開催しています。

今回の合同打合せでは、富士砂防事務所から富士山火山噴火減災対策の取組についての紹介がありました。



打合せの様子

第7回「親子で大谷崩れの森づくり」イベントが開催される

5月25日(日)に、「いのち森づくり少年団を支援する会」が主催する、「第7回親子で大谷崩れの森づくり」が、大谷崩(静岡市)で開催されました。

当日は、静岡市在住の方、県立富岳館高校の生徒など約70名の方々が参加され、現地の自生種であるヤシヤブシやヤマハンノキの苗木を入れた再生紙鉢を山腹に植樹しました。

大谷崩は日本三大崩れ(大谷崩、鳶山崩れ、稗田山崩れ)の一つに数えられる安倍川上流の大崩壊地で、静岡河川事務所による直轄砂防事業により、砂防堰堤をはじめ山腹工、床固工などの整備が進められています。



参加者による植樹の様子



集合写真

平成26年度(第32回)土砂災害防止「全国の集い」in熊本が開催される

6月5日(木)～6日(金)に、平成26年度(第32回)土砂災害防止「全国の集い」及び現地研修会が、熊本県熊本市等で開催されました。

パネルディスカッションでは、熊本県における土砂災害経験者等がパネリストとなり、「土砂災害の激甚化に備える」と題して、過去の土砂災害から教訓・課題を抽出し、速やかな住民避難のための具体的な方策等について、活発な意見交換が行われました。

また、現地研修会では五木村横手谷深層崩壊跡地において、昭和38年に発生した災害の概要と、現在行っている大規模崩壊監視システムの整備について説明が行われました。



現場研修会(五木村横手谷深層崩壊跡地)

全国建設研修センターの現地研修が小山町の災害現場で実施される

6月12日(木)に、全国建設研修センターの「砂防等計画研修」の現地研修が、平成22年の台風9号により土石流災害のあった小山町における災害関連緊急砂防事業の工事現場で実施されました。全国から若手砂防技術者28名が参加し、砂防課と沼津土木事務所の担当者が災害の概要や災害関連緊急砂防事業の申請のポイント、新工法や現場の安全対策等について説明を行い、活発な意見交換が行われました。



現地研修の様子

平成26年度(公社)日本地すべり学会総会及びシンポジウムが開催される

6月20日(金)に、(公社)日本地すべり学会の総会及びシンポジウムが、学術総合センター(千代田区一ツ橋)で開催されました。総会後の理事会では、平成26・27年度の学会長に土屋智静岡大学農学部教授の就任が決定しました。

また、京都大学防災研究所の千木良雅弘氏による「近年の地震による急激な地すべりから学ぶもの」の講演と、「大規模地震に備えた地すべり技術の展望」をテーマとして7人の学会員による先進的研究、類型学的取り組みなどの発表がありました。

【平成26年度】土砂災害防止啓発用品の紹介

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただき、ありがとうございました。



河津町役場

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】小学生・中学生 【応募期間】6月1日(日)～9月15日(月・祝)

【応募方法】作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。

【応募先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 土砂災害対策班

TEL 054-221-3044 FAX 054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



ジオフォーラム 2014 IN 静岡

【日時】平成26年10月24日(金) 9:30～17:00

【会場】午前:あざれあ 午後:静岡労政会館

参加
無料

平成26年 8-12月 砂防関係の 主な行事

- 8月19日(火)～22日(金) 第53回(公社)日本地すべり学会研究発表会および現地見学会(茨城県つくば市)
- 8月28日(木)～30日(土) 市町長等砂防事業県外視察(北海道)
- 9月 1日(月) 防災の日
- 9月25日(木)～26日(金) (公社)日本地すべり学会中部支部現地検討会(長野県山ノ内町)
- 11月 上旬 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議
- 11月 上旬 市町等砂防担当職員研修
- 11月 6日(木)～ 7日(金) 2014火山砂防フォーラム(山梨県富士吉田市)
- 11月12日(水) (公社)日本地すべり学会中部支部シンポジウム(長野県生涯学習センター)
- 11月18日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)
- 11月18日(火) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)
- 11月25日(火)～28日(金) 国際シンポジウム「INTERPRAEVENT2014」(奈良県奈良市)



【表紙写真】

梅雨晴間 (撮影地:富士宮市)

松山 二三二さん(静岡市駿河区)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

6月21日(土)に静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害」(砂防フェスティバル2014)が開催されました。

当イベントは、土砂災害防止月間の一環として、県民の皆様が砂防関係事業及び土砂災害防止に対する理解と関心を深めていただくことを目的としており、当支部では、「土砂災害に関する絵画・作文」の入賞作品の展示や土砂災害防止啓発グッズを作成・配布し、少しでも土砂災害防止啓発に役立てればと協力しています。

自然と共存しながら土砂災害のない安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、砂防事業の啓発・普及に取り組んでまいりますので、今後とも当協会へのご協力・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第184号 発行日:平成26年7月15日

編集・発行:全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp